

シンポジウム

「イノベーション戦略」が崩壊させる日本の学術体制

主催：JSA 学術体制部

◎趣旨

「イノベーション」ほど、近年の科学・技術政策、高等教育政策において多用される言葉はない。この言葉によって、文系研究・教育は「軽視」されてきた。他方、「重視」されている理系研究・教育においても様々な面で悪影響を受けている。しかし、それは外部から非常に見えにくく、また、実に多様であり、実態の把握自体が難しい。そこで、シンポジウムでは現在の政府の「科学観・研究観」がどのようなものであるか、その下に進められてい政策がいかなるものかを検討するとともに、理系の現場で何が起きているのかを具体的につかむきっかけとすることで、JSA でのこの問題への取り組みの出発点としたい。

◎報告タイトルおよび報告者

○「研究力低下」論の押しつけに抗し、学術のつり合いのとれた総合的な発展をめざして力を合わせよう

報告者：長田好弘さん（民間企業技術者・研究者問題委員会）

○「統合イノベーション戦略」が目指そうとする科学技術と大学

報告者：野村康秀さん（科学・技術政策委員会）

○「イノベーション戦略」下での国立研究開発法人の現状

報告者：小滝豊美さん（国公立試験研究機関問題委員会）

※3 報告の後、フロアを交えた議論の時間を設けます。特に、今回のシンポジウムでは取り上げることができない、大学現場の実態についてのフロアからの発言をぜひ、お願いします。大学の現状は、研究領域・設置形態・立地というによって実に多様だと思います。まずはその多様さをお互いに知ったうえで、今後の JSA の活動につなげたいと思います。

◎日時と場所

日時：2019 年 5 月 11（土）14 時～16 時半

場所：拓殖大学文教キャンパス E 館 E-604 号室（最寄駅：東京メトロ茗荷谷駅）

